

柴田賢次郎 しげつ けんじろう 小説家。明治二十四年生れ（一九〇一）。

- 著書『火線』（昭和十四年九月）二十日改造社）、『祖國』（昭和十五年七月十日通文閣）、『我らは如何に闘つたか』（合著・三省堂出版部編、昭和十六年五月十日三省堂）、『洞庭湖』（昭和十六年六月五日六藝社）『長篇小説 歸還作家・純文學叢書』（、『戦線點描』出征將兵作品集』（合著・日本電報通信社編、昭和十七年四月一日日本電報通信社出版部）、『新しき土地』（昭和十七年四月十日六藝社）『長篇小説 新銳作家叢書』（、『萬歳の聲』（藤田紹太郎畫、昭和十七年四月十五日學藝社）『國民學校聖戰讀本』（、『樹海』（昭和十八年三月十五日櫻井書店）、『美しき部隊』（向井潤吉畫、昭和十八年七月五日成徳書院）『少國民大東亞戰記』（、『比島 戦記ナチブ山』（昭和十八年十一月十日成徳書院）、『コタニラの烽火』（昭和十八年十二月十五日日本文林社）、ウノ・カズマコ著『コレヒドール最後の白』（望月元雄共譯、昭和十九年一月十日成徳書院）、『霧の基地』（昭和十九年六月）二十日晴南社）、『少年野砲兵』（牧野英、五、六卷、昭和十九年六月）二十日東亞書院、新紀元社）『陸軍少年兵叢書』（）等。

